

一級自動車工学科、自動車整備科、自動車整備・電子装飾科、自動車整備・加圧装置科、国際自動車整備科						2023年度 授業計画	
時期	2年D巡	単元	実習	教科名	電装品整備3		
科目	自動車整備作業	教科書等 持参品	日産TS4級電装		発行日	2022年12月13日	
			日産TS3級電装				
総時限	23(36)				教科担当	教科担当	
1. 実務経験のある教員による授業科目 該当 非該当							
自動車整備士として、電気装置整備の実務経験がある教員により電装品の分解・組立・点検等について指導する。							
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）							
1. 回路図から不具合箇所を推定し、テスターで証明することができる 2. 電流、電圧降下の点検ができ測定結果から正常・異常の判断が出来る。 3. オートエアコンの概要を理解する。 4. オートエアコンに使用されているセンサと取付位置、役割を理解する。□ 5. オートライトの作動および感度調整要領を理解する。 6. ウィンドウ撥水の施工方法を理解し実際に施工できる							
3. 授業の到達目標（この授業を学ぶことで学生は何を理解し何が出来るようになるのか）							
1. お客さまの車両(実習車両)の取り扱い方を理解する。 2. サークルチェックの必要性を理解し、抜けのないチェックが出来る。 3. 仕事でテスターを使用し整備が出来るようになる。 4. 配線図集が読めるようになっている 5. 不具合箇所を推定できるようになる。 6. 基本的なオートエアコンの作動がわかる。 7. オートエアコンのセンサの取り付け場所、役割がわかる 8. オートライトの作動と感度調整方法がわかる。 9. ウィンドウ撥水が施工できる。							
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）							
実技試験60%、筆記試験10%、レポート15%、行動評価15%の合計点が60(70)%以上を合格とする。							
5. 準備学習							
日産3級電装、日産4級電装の教科書を事前に読み予習を行う。							

時期	2年D巡	単元	実習	教科名	電装品整備3
----	------	----	----	-----	--------

7. 安全 (KYのため必ず授業内で説明)

番号	作業名	遵守事項	災害事例	チェック
1	サーキットテストで導通点検	キーをOFF 伝道師のコンセントを外す		
2	カプラーを外す際	配線を引っ張らない		
3	車両取り扱い	運転席のみ乗車		

8. 授業レイアウト (写真の貼り付けも可)

実習場	座学教室